

「よ」

なよなエール」というクラブ
トビールをご存知でしょう
か。私はその製造元、ヤッホー
ブルーイングで営業の仕事をしてい
ます。茨城出身の私がなぜ長野に本社
や醸造所を置くビール会社に就職した
か。きっかけは、大学院で、総合型地域
スポーツクラブの研究をしていたとき、
こんな話を聞いたことです。「欧米で盛
んな住民自治のスポーツクラブでは、運
動を終えた人々がクラブハウスに集ま
り、年代に関係なく、おしゃべりに興じ
る。その中心には決まって地域のビール
がある」と。人好き、ビール好きの私は、
「ビールには、そんな素敵なつながりを
生む力があるのか」と心が躍りました。

そして、個性的なビールやイベントで多
くのファンの心を掴んでいる弊社のこ
とを知りました。大手のビール会社に
就職したら、シェアの奪い合いに追われ
るかもしれませんが、この会社なら地域
と関わる仕事ができると思いました。

入社4年目の今は営業部門に所属。
コンビニを含む県内全域の小売店や軽
井沢地区のホテルを担当し、バイヤーさ
んに製品を提案したり、勉強会を開い
たり、ブランディングやマーケティングに
も関わっています。期間限定の新製品
を世に出す際は、製造部門とコンセプ
トをすり合わせ、パッケージデザインにつ
いても意見を出し合います。

年間を通して試飲会やフェスなどの
イベントも多く、その企画や運営も私
の仕事です。つまり、販売して終わり

はありません。そのため目標はあつても
売り上げノルマはないんです。営業部門
のミッションは「クラブトビールで三方
楽し」というもの。三方とは売り手・買
い手・世間のことです。私たち自身が楽
しみながら、お客様がワクワク楽しめる
ような体験、例えば、数千人規模の人
が集うファンイベント「よなよなエールの
超宴」がその代表ですが、エンタメ性の
ある体験価値を提供し、そのうえで業
界や地域を盛り上げ、仲間の輪を広
げていく仕事だと感じています。

本業以外でも、地域に関わりたくい
う入社前からの希望は実現していま
す。入社直後、地元(軽井沢・御代田・
佐久)を盛り上げようと、有志スタッフ
による「地元プロジェクト」が立ち上が
り、私も加わりました。地元の魅力を
社員が投稿する写真コンテストを皮切
りに今も多くの地域貢献活動をしてい
ます。弊社の良いところは、やりたいと
手を挙げれば後押ししてくれること。
就業時間の2割を、直接業務と関係な
いプロジェクト活動に充てていいんです。

プライベートでも、地元の花火大会
やカーリング大会などを手伝ってま
すし、駅前の交流スペースが、夜の部(酒
場)を始めてからは、終業後、副業とし
て働いています。そこで知り合った方と
仕事につながることもあります。それ
が狙いではありません。目的は、真の意
味で、町の人になつて、仲間の輪を広
げること。いつまでも移住者扱いでは地
域を盛り上げることはできませんから。

地元の仲間の輪をひろげること



私の仕事は、営業です。

(株)ヤッホーブルーイング
県内・軽井沢営業ユニット
飯田祐眞さん

いいだ・ゆうま●1993年生まれ。筑
波大学大学院で、豊かなコミュニティ
や社会づくりに関心をもち、2021年
ヤッホーブルーイング入社。現在、「県
内・軽井沢営業ユニット」(別名 軽井
沢Cheers!)に所属。同社は「働きが
いのある会社」として知られ、自由に
意見が言える組織醸成のため雑談
朝礼ほかニックネーム制を導入。飯
田さんはスタッフや取引先から「ばん
だ」の愛称で呼ばれる。

3

